

乳がん術後連携パス（説明書）

【目的】

乳がん治療において、当院で手術を受けた後も安心・確実な治療が継続できるよう、かかりつけ医と患者様の診療情報（治療方針や治療結果等）を共有することによって患者様を支えることを目的とします。

【流れおよび方法】

患者様のお住まいの地域の診療所（以下「かかりつけ医」）と当院が、地域診療連携計画（「乳がん術後連携パス」）を使って、診療情報のやりとりを行います。病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が行い、専門的な治療や定期的な検査のときは当院を受診していただきます。

この乳がん術後連携パスには、「患者さん用」と「医療者用」があり、この二つを使用して計画的に患者様の治療を行っていきます。

【期待されること】

乳がん術後連携パスを使うことによって、患者様・当院・かかりつけ医と協力し、患者様の視点に立った安心で質の高い医療を提供する体制を構築します。また、患者様においては長い待ち時間や通院時間の短縮といった負担軽減、ご自身の治療計画や経過の把握、かかりつけ医の手厚い診療による不安の解消といったメリットがあり、治療の面においては、治療方針や検査結果を共有することで一貫した治療が可能となります。

【連携パスの中止と患者様の権利について】

乳がん術後連携パスは、治療計画があなたに合わないとき、病状が悪くなり治療方針が変わるときに医師の判断でその使用を中止します。

患者様やご家族にとって、乳がん術後連携パスを使用することに抵抗がある場合は、拒否する権利があります。また、既に乳がん術後連携パスを使用して治療を行っていても、患者様の判断で中止することができますので、担当医師に相談して下さい。なお、中止することで患者様が治療制約等の不利益を被ることはありません。

【注意事項について】

この乳がん術後連携パスの「患者さん用」（小冊子）には、患者様ご自身の病気、治療や検査結果が書かれていますので、なくしたりしないよう十分に注意して下さい。

かかりつけ医や病院を受診する際には、必ず乳がん術後連携パスの「患者さん用」（小冊子）を持ってきてください。

【質問や相談ごとについて】

この乳がん術後連携パスを使う際に、分からぬことや心配なことがありましたら、いつでも担当医や病院スタッフにお尋ねください。